

新! 中央公民館ができるまで 05



多賀の山々の中で木を伐採している様子

新中央公民館の愛称が「多賀 結いの森」に決定しました!

新多賀町中央公民館の愛称候補6作品へのたくさんのご投票、ありがとうございました。皆さまからのご投票により「多賀 結いの森(たが ゆいのもり)」が最優秀作品として選ばれました。「木と木が集まる森のように、人と人が自然とつながる場所になりますように」と愛称に込められた想いに応えられるよう、これからも準備を進めます。

【優秀賞】多賀 結の館(たが ゆいのやかた)、ハピネス TAGA(はびねす たが つどいのやかた、木楽楽(きらら)、木奇楽(きよら)

※ 審査委員会の判断により表記(漢字、ひらがな、ローマ字等)は修正することがあります。



1次選考会の様子

新しい中央公民館にはこんな場所があります

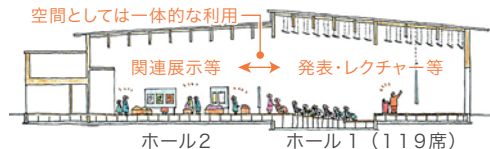
新しい公民館では、固定席のホール1と可動席を収納しているホール2があり、あわせて317席となるホールを計画しています。ホール1は移動間仕切りを使って居心地の良い小さな空間にもなり、またホール2は明るいホワイエと一体的に使うことで多賀座の練習も行える広々とした場所としても利用できるような、柔軟な使い方のできるホールを構想しています。



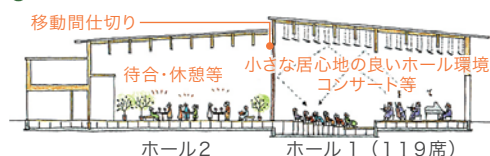
ステージ側から見たホールの利用イメージ



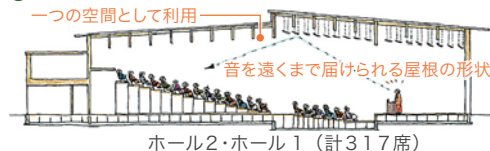
① ホール2の可動席を収納して、関連した展示等に利用



② 間仕切りで分け、ホール2をホワイエ空間として利用



③ ホール全体を客席として利用



公民館の未来って? こんな場所を目指しています! vol.05

平成29年度は、「多賀語ろう会」として活動を始めて2年目の年でした。前年度の活動を引き継いで活動し、例会7回、研修会3回、視察研修1回を開催しました。今年度は「食」をひとつのテーマとして活動を行い、多賀の伝統食を保存し、伝えていく取り組みとして「ふるさと多賀の食まつり」イベントを開催することができました。また、研修会や視察研修も開催し、公民館のあり方や福祉などについて学びを深めました。

いよいよ新公民館の開館が平成31年度に迫り、来年度は開館直前の年となります。今年度イベントを開催した「食まつり」の本番の事業や、開館に向けての取り組みを進めていく予定です。

また来年度で、昭和53年に開館し、約40年の長きにわたりご愛顧いただいた現公民館は閉館することとなります。感謝をこめて、閉館にあたっての事業も開催予定です。地域の皆さんと協力して、閉館・開館に備えていきたいと思っておりますので、ご理解ご協力のほどお願い致します。(多賀町 生涯学習課)

新中央公民館ができるまで
これまでのできごとをふりかえりました！



さまざまな人が集まり活動を行う、新中央公民館のイメージ

新しい公民館ができるまでの、この1年間の様子をダイジェストで紹介します。来年4月の開館に向けて、多様な人々が集う公民館を目指し、地域の皆さんと取り組む活動を今後も計画しています！

- 2013**
8月 生涯学習のあり方検討委員会
- 2014**
8月 中央公民館整備検討委員会
12月 生涯学習推進基本計画策定
- 2015**
3月 提言書提出
5月 中央公民館建設基本計画策定
6月 設計者選定コンペ 公募開始
8月 1次審査
10月 2次審査公開プレゼン
- 2016**
中央公民館建設委員会、
林業活性化検討部会、
中央公民館運営準備部会 設置

2月 町に詳しい学芸員の方と一緒に町内のフィールドワーク



5月～ ホールや林業、食などの各分野の専門家を招いて研修



2017

町の歴史・文化について語る会 1月23日

林業リサーチ& PRポスターづくり



町内の林業や製材について、山の伐採現場や製材所を訪れ、リサーチを行いました。その後には、デザイナーと編集者さんの手によって素敵なPRポスターがつけられました。

町の方々と山菜採り



「多賀のおもてなし料理」をテーマに高取山と大杉を訪れ、地域の方とワラビやヤマブキなどさまざまな山菜を採り、秋に予定している食まつりに向けて保存しました。

町の木を使った家具づくり



新しい公民館にあわせた、町産材の家具づくりプロジェクト。町の建築家やデザイナーさんと協力し、普段接する家具にも多賀らしさのあるものを目指し、試作を重ねています。

3月7日

3月13日 過去のふりかえりと今年の方針の語る会

4月24日

8月26日 ふるさとの食まつり in 日野へ見学

9月28日

10月10日

イタドリ煮に密着取材



町内の藤瀬のグループが「多賀ふるさと楽市」でイタドリ煮を販売すると聞き、ぬか漬けにして約半年保存していたイタドリのぬかを洗い流す作業から、調理までを取材しました。

ふるさとの食まつり in 日野について



運営に携わる西河佳子さんと鶴瀬ゆりさんをお招きし、伝統食やおふくろの味の魅力発見、イベントの準備や、その過程で育まれた地域の絆など、取り組みについてお話を伺いました。

10月17日

11月25日

ふるさと多賀の食まつり プレイベントを開催！



食について考え、次世代へ伝える「ふるさと多賀の食まつり」のプレイベントを開催。郷土料理の試食やレシピ展示、町産材のお皿づくりなど、交流しながら町の魅力を再発見しました。

公民館のヒント探しに 奈良の先進地へ



公民館や杉の子作業所さんとの未来を考えるため、地域の方々が中心となり活動する二名公民館と、障がいのある人との仕事づくりに取り組む Good Job! センター香芝を見学。

12月8日 新公民館の愛称の募集がスタート！

12月9日

2018

1月24日

1月30日

2月26日 愛称の応募作品から6案を選出

杉の子作業所とのモノづくり



皆で自由に大きな紙に色を塗るワークショップを開催し、個性豊かな模様が出来上がりました。この作品を利用して、次のモノづくりにつなげることを考えています。

学びを通して 地域をつくる公民館



千葉大学の長澤成次さんをお招きし、研修会を開きました。公民館を支える社会教育法を中心に、千葉の活動事例も交えながら、地域の未来をつくる公民館の課題を学びました。

いよいよ新公民館の建設！



新しい中央公民館の建築工事にあたり起工式が行われ、関係者で工事の安全祈願をしました。2019年4月の開館を目指して、これから工事が進んでいきます。

滋賀の暮らしとクリエイティビティ



滋賀の魅力の世界へ発信する「湖と、陸と、人々と。MUSUBU SHIGA」プロジェクトのディレクター服部滋樹さんをお招きし、滋賀の多彩な魅力についてお話を伺いました。

3月19日 投票により愛称が決定！



まだまだ続きます！